



STEP
1

「文化芸術の価値の可視化」

2023
9.7(木)～8(金) 音楽ロフト

STEP
2

「文化芸術の参加型評価」

2024
2.7(水)～8(木) 美術ロフト

PLACE

可児市文化創造センター ala
音楽ロフト、美術ロフト

※ライブ配信はありません。希望者には後日、アーカイブ配信
できます(要 視聴後アンケート提出)。

ENTRY

下記の「参加申込フォーム」に必要事項をご入力の上、お申込みください。



●参加費無料(要申込)

●定員: 15 名程度

【参加申込フォーム】

<https://sgfm.jp/f/artma2023>

参加条件等

- ▶原則 2 回とも現地へお越しいただき、参加意欲を持ってグループワークに参加できる方。評価に関する知識は問いません。
- ▶現地でゼミ以外に、オンラインミーティングを行う場合(1～2 回程度)があり、それに参加できる方。
- ▶各回終了後に 2,000 字程度のレポートを提出できる方。
※終了後に年間報告書に掲載します。
- ▶定員を超えた場合には、選考を行うことがあります。

申込締切

2023 年 8 月 10 日(金) 17:00

お問合せ

可児市文化創造センター
事業制作課(半田将仁・松浦正和)
電話: 0574-60-3311 9:00～22:30※火曜休館

主 催

公益財団法人可児市文化芸術振興財団

About あーとま塾

『あーとま塾』とは?

“国”の定める劇場法やその指針、“ala”が行ってきた地域貢献・社会包摂に関する実践的アプローチを題材に「社会機関としての劇場の役割」を考えていく合宿形式のプログラムです。2016 年から開催し、今年で 8 年目となりました。前館長の衛紀生氏による監修の下、これまでさまざまな実践者や学術研究者、企業の社会貢献担当者、国の文化政策担当者などをゲスト講師として招き、公共劇場・芸術団体運営者や自治体職員、実演家等の多様なステークホルダーが参加してきました。

企画の背景

2023 年 3 月に閣議決定された文化芸術推進基本計画(第 2 期)には、EBPM(Evidence-based policy making)の理念に則り、合理的なエビデンスに基づいた文化芸術政策を推進するとあり、文化芸術がもたらす本質的価値及び社会的・経済的価値の円滑な創出を図っていくことが重要と記載されています。また、文化審議会文化経済部会では、文化芸術の「創造的循環」がテーマとされ、持続可能な文化芸術のエコシステム形成について、文化と経済が好循環し、「伴走型支援」もキーワードに入れた社会的・経済的価値の客観的な指標導入や運用方法等を議論し、現在進行形で文化政策のアップデートが進められています。

令和 5 年度の文化庁予算では、文化芸術の自律的運営促進事業が新規でつくられ、伴走型支援による文化芸術のエコシステム構築を目指している動きもあります。

今年のテーマ 「評価の先にあるもの」

上記の背景をふまえ、あーとま塾 2023 では、評価的思考(Evaluative Thinking)を基にした文化芸術の社会的価値・経済的価値の可視化に取り組む。「外部経済性」をキーワードに入れ、社会の好循環を生み出す公共部門のマーケティングの考えのもとで、参加型評価について学び、劇場の関係者が事業の価値を引き出す思考を鍛える場とします。

また、文化庁の文化芸術の自律的運営促進事業に関し、文化芸術の伴走型支援について政策提案できうる成果公開を目指します。

アプローチ方法

評価学の専門家やシンクタンクなど社会状況の調査・分析に携わる研究員、文化芸術活動の社会的インパクトを測定するコンサルタントなどのレクチャーと、ロジックモデルワークショップや、可児市文化創造センターの「まち元気プロジェクト」等の事例及びそのデータを用いた参加型評価のシミュレーションを行い、「エビデンスに基づいた政策立案」に取り組みます。グループワークテーマは、「子ども」「外国籍」「障がい者」「アウトリーチ」等を予定しております。

STEP
1

「文化芸術の価値の可視化」

2023

9.7(木)～8(金) 音楽ロフト

- 1日目 レクチャー／トークセッション／グループワークオリエンテーション

🕒 13:00～17:00

講師：大澤寅雄

レクチャーテーマ

「文化芸術推進基本計画(第2期)」と、文化審議会文化経済部会の報告書から読み解く、文化芸術について社会的・経済的価値と、持続可能な文化芸術のエコシステム形成について」

- 2日目 グループワーク 🕒 10:00～15:00

モデレーター：落合千華

アドバイザー：大澤寅雄

ファシリテーター：あーとま塾スタッフ

グループワーク内容

「まち元気プロジェクト」等の具体的事業を基にしたロジックモデルワークショップ。グループワークテーマは、「子ども」「外国籍」「障がい者」「アウトリーチ」等に関する事業。

STEP
2

「文化芸術の参加型評価」

2024

2.7(水)～8(木) 美術ロフト

- 1日目 レクチャー／トークセッション／グループワークオリエンテーション

🕒 13:00～17:00

講師：源由理子

講師：大澤寅雄

レクチャーテーマ

「Step1で話し合ったことを基に、評価的思考についての概要と、各ステークホルダーへ価値を伝え、共有する手段としての参加型評価。ならびに社会の好循環を生み出す公共部門のマーケティングについて」

- 2日目 グループワーク 🕒 10:00～15:00

モデレーター：落合千華

アドバイザー：源由理子、大澤寅雄

ファシリテーター：あーとま塾スタッフ

グループワーク内容

Step1で作成した「子ども」「外国籍」「障がい者」「アウトリーチ」等に関する事業のロジックモデルのブラッシュアップと、アンケート設計ワーク、事業の関係者も交じた参加型評価のシミュレーション。

詳細は参加者へ個別連絡します。 ※状況に応じ、プログラムを変更する場合があります。

塾長

衛 紀生 ● 可児市文化創造センター ala シニアアドバイザー兼まち元気そうだん室長

レクチャー
モデレーター

栗田 康弘 ● 可児市文化創造センター ala・プログラムディレクター

グループワーク
ファシリテーター
[あーとま塾スタッフ]

今尾 江美子 ● ケイスリー株式会社 ディレクター

松岡 弘樹 ● 丸亀市 産業文化部 文化課 市民会館開館準備室 室長

荒川 裕子 ● NPO 法人福井芸術・文化フォーラム 事務局／アートマネージャー

石川 清隆 ● 東京藝術大学大学院 国際芸術創造研究科 (GA) 特任助手

江藤 慎介 ● 株式会社 地域計画建築研究所 (アルパック) 地域産業イノベーショングループ チームマネージャー

GUEST



塾長

衛 紀生 Kisei Ei

● ala シニアアドバイザー兼まち元気そうだん室長

演劇批評家、演劇キャスター、早稲田大学文学部講師、県立宮城大学事業構想学部客員教授を経て、2007年に可児市文化創造センター館長兼劇場総監督就任。2021年4月より可児市文化創造センター シニアアドバイザー兼まち元気そうだん室長に就任。現在、独立行政法人日本芸術文化振興会 芸術文化振興基金運営委員会委員 委員長代理。



グループワーク・モデレーター

落合 千華 Chika Ochiai

● 一般社団法人 CoAr 代表理事

● 慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員

子どもの活動、芸術文化活動、コミュニティに関する伴走支援・企画運営に専門に取り組む。中央省庁、地方自治体、企業や非営利組織との協働経験多数。被災地や沖縄での子どもの芸術文化活動、特に音楽を中心とした舞台芸術に関する団体、劇場等との協働、伴走支援に従事。



Step1・Step2 講師

大澤 寅雄 Torao Osawa

● 合同会社文化コモンズ研究所 代表 / 文化生態観察

NPO 法人アート NPO リンク理事長、NPO 法人子ども文化地域コーディネーター協会専務理事、堺アーツカウンシル プログラム・オフィサー。共著『これからのアートマネジメント』『ソーシャル・シェア』への道』『文化からの復興市民と震災といわきアリオス』『文化政策の現在3 文化政策の展望』『ソーシャルアトラポ 地域と社会をひらく』。



Step2 講師

源 由理子 Yuriko Minamoto

● 明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科専任教授

● 日本評価学会副会長

専門は、評価論、社会開発論。改善・変革のための評価、評価とエンパワメントをテーマとし、社会セクターの政策・事業の評価手法、評価制度構築、参加型・協働型評価に関する研究・実践を積む。これまで自治体、NPO、財団、企業の CSR 等の評価実践現場を支援。

交通アクセス

住所：〒509-0203 岐阜県可児市下恵土 3433-139



● 名鉄名古屋駅より約 50 分→日本ライン今渡駅下車→徒歩 / 10 分

● JR 名古屋駅より約 70 分→可児駅下車→タクシー / 約 10 分 or 徒歩 / 30 分



● 東海環状自動車道【可児・御高 IC】から約 15 分

● 中央自動車道【多治見 IC】から国道 248 号経由で約 25 分

旅費補助・宿泊手配制度について

宿泊を必要とする参加者を対象に旅費の一定補助と、宿泊先を無料手配する制度があります。詳細は参加確定後に個別にご連絡します。

